

# 放課後等デイサービス 事業者評価

公表日：令和6年 2月 5日

富山型デイサービスもみじ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切あるか	6	2	0	利用定員に応じたスペースが確保されている。
	②	職員の配置数は適切であるか	7	1	0	
	③	事務所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	1	0	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	3	3	2	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	3	2	
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やHPで公開しているか	6	2	0	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に役立てているか	1	4	3	
	⑧	職員の資質向上のため研修の機会を確保しているか	5	2	1	月1回の内部研修
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画書を作成しているか	3	4	1	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るため、標準化されたアセスメントシートを使用しているか	1	4	3	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	0	6	2	活動内容はチームではないが利用者本人と相談しながら決めるようにしている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	0	5	3	本人が好む活動以外の活動も提案したりしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	2	4	2	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別指導と集団活動を適宜組み合わせる支援計画を作成しているか	0	5	3	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	0	4	4	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	1	6	1	打ち合わせの時間は設けていないが、いつもと違う様子や気づいたことがあれば、職員間で情報共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	1	0	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	4	0	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	0	4	4	

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参加しているか	3	2	3	
	㉑	他機関との情報共有、連絡調整を適切に行っているか	4	3	1	
	㉒	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	3	3	
	㉓	学校、保育所、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	2	0	学校の連絡帳も確認できる場合は、目を通して情報共有している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容の情報を提供しているか	2	6	0	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	3	5	
	㉖	障害のない子どもと活動する機会はあるか	0	1	7	今後、地域の子どもたちを受け入れられるよう検討する。
	㉗	(自立支援)協議会へ積極的に参加しているか	0	2	6	
	㉘	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	7	1	0	送迎時や連絡帳を用いて利用中の様子を伝えるようにしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者にペアレントトレーニング等の支援を行っているか	0	3	5	
㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	7	1	0		
保護者への説明責任等	㉛	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか	7	1	0	
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	1	7	利用者の年齢にばらつきがあり、保護者会等は開催していない。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1	0	
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	2	0	年4回利用者の様子を知らせる「もみじ新聞」を発行している。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	7	1	0	
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために配慮しているか	7	1	0	
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等の地域に開かれた事業所運営を図っているか	1	1	6	地域のボランティアの方が来所する機会はあるが、広く地域住民を対象としていない。
非常時の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	5	1	
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出等の訓練を行っているか	7	1	0	
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を	7	1	0	毎年定期的に行っている

応	◎	○	△	×	◎	※
非常時の対応		確保する等適切な対応をしているか				
	④①	身体拘束を行う場合、組織的に決定し、保護者に説明し了承を得たうえで計画書に記載しているか	5	3	0	
	④②	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか	3	4	1	該当者なし
	④③	ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で共有しているか	6	1	1	

○この「事業者による自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

回答者 相談員2名 介護士4名 看護師2名

・定期的な利用人数は4名。高齢者主体の共生型事業所のため、療育面の知識や経験が少ない職員が多い。また、高齢者向けの業務が多いため、放デイ利用者に特化した対応はなかなかできていないのが現状である。

・コロナ禍で控えてきた外部研修への参加および第三者評価委員会等を再開した。